

2011 年度後期金曜 1 限 (C33)

「比較文化論」

担当教員：東賢太郎

## 第 5 回 ロハスーフィリピンの地方都市①

### イントロダクションーマニラからロハスへ

宗教文化について研究するために、地方で長期住み込み型フィールドワークを実施

期間：2002 年から 2004 年まで 2 年間

滞在：なりゆきのホームステイ

言語：英語を介した通訳から現地語の言語習得へ

方法：生活をしながらの調査ー参与観察

### フィリピン地方都市ロハス

フィリピン西ビサヤ地域パナイ島 4 州（イロイロ、アンティケ、アクラン、カピス）

カピス州：州都ロハス市以下 17 市町で構成

人口：約 12 万人（カピス州全体、約 65 万人）

言語：ヒリガイノン語（フィリピンで 4 番目に大きい言語集団。母語話者約 700 万人）

宗教：カトリック中心のキリスト教（カトリック信徒率 95%）

生業：米、砂糖、漁業など

交通：マニラから飛行機で約 1 時間、船で約 24 時間

## リアクションペーパー

- (a) 講義内容
- (b) 質問・コメント
- (c) クイズ：自分のこれまでの「宗教体験」について

## 参考文献

寺田勇文（編）（2002）『東南アジアのキリスト教』めこん

川田牧人（2003）『祈りと祀りの日常知ーフィリピン・ビサヤ地方バンタヤン島民族誌』九州大学出版会

イレート，R（2005）『キリスト受難詩と革命ー1840年～1910年のフィリピン民衆運動』（川田牧人他訳）法政大学出版局